

考えてみました

大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催されています。そこで今回は、楽しく豊かな未来を想像してみて、未来ではこんな風になっていたら良いと思うものやことを書いてもらいました。なお、掲載できなかった記者の記事は、市ホームページに掲載しています。

空飛ぶクルマがある未来



大和田小 鈴木 実加子

私は、大阪・関西万博で空飛ぶクルマがあることを知り、前にテレビ番組で見た未来の車によく似ていると感じ、早く実現してほしいと思いました。そう思ったきっかけは、最近小さい子どもや小学生がまきこまれる交通事故が多く、危険なので、空飛ぶクルマがあれば良いのではないかなと思ったことです。AI機能がついた空飛ぶクルマが子どもを安全に幼稚園や学校まで運んでくれたら、交通事故にあわなくなると思います。事故にあってケガをしたり、その家族が悲しい思いをすることがなくなったりして、安全性の高い未来のまちができていたらうれしいです。

外国人とつながるように



睦小 飯島 颯太

僕がなつてほしいと思う未来は、言葉が通じなくても、外国人と気軽に話せる未来です。この間、僕たちのクラスに国籍がスリランカの転校生がやってきました。僕は転校生と仲良くなろうと一生懸命に簡単な英語で話しかけたのですが、全く相手には伝わらず不安や心配な気持ちでいっぱいになりました。だけど言葉が通じなくても気軽に話せる未来になれば、このようなことにはなりません。それだけではなく、外国人観光客に質問された時やたずねられた時にも役立つので未来がよりよくなると思います。こういった案で未来を発展させていきたいです。

楽しく！幸せを届けるAI



村上小 金子 眞子

私は、人の心に寄りそってくれるAIができれば良いなと思いました。なぜなら、これまでの実体験として「今、誰かに気持ちを聞いてほしい。」と思った時、時間が合わなかったり、相手が忙しかったりと相談できないことがありました。そのような時、いつでもそばに居てくれるAIがあれば、自分にとってすごく心強いと思います。ひとりで悩みを抱えこんでしまう人が、少しでも減ってくれたら嬉しいです。そして、私たちとAIが共に幸せだと感じることでできる未来になってほしいと思います。

たくさんの命が救われますように



八千代台小 川城 沙季

私は、人間の体をスキャンして具合が悪い所が分かるようなAED内蔵型の機械が未来にあったらいいなと思いま

す。理由は、昨年祖母が心筋こうそくで救急車で運ばれました。その時、すぐに救急車を呼んで良いものか悩んだそうです。命は助かりましたが、心臓の3分の1がえ死してしまいました。もし、その機械があれば、すぐに病院に行く判断ができると思います。さらに、119に連絡できる機能もつければ命が救われる人の確率が高くなると思います。また、不要な救急車の出動も減らせて、緊急性の高い人に救急車が使えて、多くの人が救われます。

未来のゴミゼロ活動！



西高津小 伊藤 漣

僕は、海や川のゴミを取るあみが未来にあったらいいと思います。今、ゴミのポイ捨てなどで落ちたゴミが風などに流され川に行き、川の流れて海にたどりついてしまい、そのゴミを海の生き物が食べて死んでしまうという悲しい出来事が報告されています。そこで、海や川のゴミを取れるあみがあれば、魚が死なずに生きていけると思います。さらに、そのゴミをリサイクルすることができれば、魚にとっても人間にとってもよりよい環境で生きていけると思います。

未来を変えるミニアイテム



南高津小 石坂 雪

私が考えた「未来にあったらこんなことがよりよくなるもの」はフィーリングコンタクトです。フィーリングを日本語で言うと「きもち」です。フィーリングコンタクトを付けると、今日の前にいる人の感情が体験できます。例えば、何かの理由で泣いている赤ちゃんの前でそのコンタクトを付けると、泣いている理由が体感できます。おなか为空いていたり、具合が悪かったり。これは医療でも使えます。目の前の患者の痛いところがわかります。これを用いて、世界の医療を発展させ、心と心がつながると私は考えます。

子どもたちの未来



村上東小 中沢 祐希

僕が、こんなふうになったら良いと思う未来は、子どもたちが働かなくてもよい世界です。なぜなら、世界には児童労働をしている子どもがたくさんいるからです。たとえば、アフリカのガーナは貧困家庭が多く、5人に1人の子どもが学校に行かずに仕事をしている事実があります。僕と同じ位の子どもが労働者として働いていることを知ってとても悲しいと思いました。世界中の子どもたちが当たり前のように学校に通うことができる未来になってほしいです。そしていつか、自分の好きな仕事をしてほしいと願っています。

天気を自由にコントロール！



大和田西小 川口 珠生

未来では、天気を自由にコントロールできるようになっていけばいいなと思います。なぜなら、今年の運動会、金曜日から雨がふり、楽しみにしていた前日準備も中止になりました。土曜日にも日曜日も、グラウンド状況が悪く延期。早起きして気持ちを整えていましたが、ぷしゅーっと気が抜けたように感じました。もし、天気を自由にコントロールできれば、天気になやまされることなく、気持ちを整えて当日に万全の心と体で臨めると思います。また、農家の人にとっても、安定した収穫ができ、食品ロスを減らすことにつながると思います。



皆の夢のサポーター



萱田小 大寺 航世

僕は、テレビが五感で感じ取れるようになると良いと思います。このテレビが実現すれば、今まで感じることでできなかった味や匂い、手触りを感じるができるようになるため、よりリアルになり、よりテレビを楽しむことができます。さらに、病氣などで行きたいところにいけない、食べたいものを食べられないという人も、自分のやりたいことを自由にやるすることができます。そのため、このテレビは自分たちの暮らしを楽しくするだけでなく、人々の夢や願いを叶える助けになっていくと思います。

「ありがとう」があふれる八千代



勝田台中 田畑 凜子

私たちは普段、何げなく「ありがとう」という言葉を口にします。私は、そんな言葉があふれる八千代になったらいいと思います。例えば嫌な事があって落ち込んだ時、誰かからささいな事で「ありがとう」と言われたら、私だったらとても嬉しいです。誰かに感謝することは、いつになっても大切になればいいません。何か人のためになることをしたら、感謝の言葉が返ってくる。それがあたりまえになればとても素敵なことだと思います。